

メッセージ for Kids ～川崎の子どもたちへ～

tvkLOVE かわさき MC 敦士 田中アナウンサー

敦士：tvk LOVE かわさきの敦士です。

田中：tvk アナウンサーの田中碧です。

敦士：皆さんこの状況の中でどうお過ごしでしょうか。僕は、毎日家にいる時間が増える中で、どう楽しもうかなと、簡単なこと言えば、ソファの位置とテレビの位置を変えてみるとか、模様替をするだけで気分が変わるので、そうやって楽しんでたり、普段なかなか作る時間もなかった料理を毎日作ったり、子供という時間もなかなか少なかったもので、一緒に遊んだりワイワイ騒いで家の中で暴れまわっております。田中さんは？

田中：敦士さんも家族と過ごす時間を大切にされてるようですけれども、私も料理をしたり、愛犬と遊んだり、家族との時間をすごく大切にできるようになったなと感じています。

敦士：お家の時間というよりは、家族との時間が増えたということですかね。

田中：前向きに捉えられますよね。

敦士：僕なんかで言うと、本当子供成長するのをあまり見れてこなかった中で、今もずっと見れてますので、そこは楽しいです、すごくありがたいことだと思っています。

田中：敦士さんは子どもの時、どんな子どもだったのですか。

敦士：大きかったよ。

田中：ずっと大きいんですね。

敦士：大きかった。ずっと大きい子だったのだけど、体の大きさから、今の性格は想像できないんですけど、引っ込み思案だったんだ。初対面で会う人と喋れなかったりとか、すごいシャイな男の子でした。でも友達が好きで、仲良くなってしまうと外で思いっきり遊びに行ったり、田舎で育ったので、田んぼの中、駆けずりまわったり、虫取り行ったり、活発な男の子だったじゃないかなと思います。自分するのは評価するのは難しいですけど。田中さんは。

田中：私も結構シャイなタイプで、クラスで先生に指名されるじゃないですか、その時手を上に挙げられなくて、結構シャイなタイプでした。ただ、お稽古事が大好きで、毎日違うお稽古に通っていました。バレエとか、水泳、器械体操、ピアノ、合唱行ったりとか本当に好きな事をしてました。

敦士：活発だね。

田中：そうなんですかね。私は、近くに友達が住んでなかったっていうのもあるかもしれないですけど。一人の時間が多かったので、お稽古事を楽しんでいました。

敦士：子供たちは今こういう状況で、外に遊びたいとかでも制限がかかっているじゃないですか。大分つらいでしょうね。でもこのつらさって、絶対に覚えておいてください。つらいことって、絶対にどう転んだってつらいんですよ。僕、人生44年生きていますが、つらいことの記憶の方が多いんです。でも、それを薄めるためにどうやって薄めるのかなって、僕のやり方なんですけど、薄めるためには、激辛なものをどうその辛さを抑えようか、甘いものを食べるみたいな、そんな感覚なんですけど、僕のやり方は、1回忘れるんです。つらかったこと。もちろん、面と向かわないといけないんですけど、つらさとは。でも一回忘れて、自分の楽しいことを没頭してやってみる。そうすると、おれってこれができるじゃんと思うんです。そこから一回つらいことに戻るんです。そうすると、あれだけつらかった濃厚だった、つらかったことがこれぐらい薄くなっているものなんです。つらいことを忘れることはできませんが、それを上書きすることは、楽しいことで上書きすることは、できると思うんです。なので、僕は思うんですけど、自分が将来、時間がある中で、何になりたいのか、漠然でいいんです。スポーツ選手になりたいとか、何のスポーツが分かんなくてもいいと思います。スポーツ選手になって、成功して、こんな家に住んでいたいとか、車好きな子だったらこんな車乗ってほしいとかっていうことを思い浮かべれば、つらい事って頑張れば楽しいことで変化する可能性もあるんです。だからこういった時間で、何かできること、なんでもいいと思うんです。

田中：ゆっくり自分と向き合う時間にもなりますよね。敦士さん、川崎の子どもたちに向けてメッセージをお願いします。

敦士：皆さんこういう状況の中でお家で過ごす時間がたっぷりあると思います。その中で何か一つ、やったぞということをつくってみてください。勉強とかでなくても簡単なことでいいと思うんです。お手伝いできたでもいいです。トイレ掃除したよ、りんごの皮むけなかったけど剥けたよ、とかそういう小さいことでいいと思うんです。それが確実に自分の自信に繋がっていきます。と僕も思っています。

田中：うまくいった経験をどんどん積み重ねて行って欲しいですね。

敦士：それが大人になっていくということだと思うので、是非なんでもいいのでやってみてください。そして、LOVE かわさきから、皆さんは、素晴らしい川崎という街で育っています。川崎のことを一度調べてみてください。目を向けてみてください。当たり前だったことが調べてみたらこんなすごいことだったのかということも気付いてくるはずです。素晴らしい街です。是非この時間を利用して川崎の事調べてください。そして好きになってください。僕たちは川崎の子供たちみんなのことを

二人：応援しています。